2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	文章表現基礎講座 (Basic Course of Sentence Expression)		
ナンバリングコード	A10303	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル コミュニケーション科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	A030867	クラス名	経営経済学部
担当教員名	太田　清子		
履修上の注意、履修条件	「基礎学力講座(国語)」を履修していることが望ましい。 　教科書は必ず持参してください。ノートを用意し、国語辞典(電子辞書も可)を常に携帯するのがよろしい。予習や復習のために図書館や人間力育成センターの図書を積極的に利用しましょう。欠席や遅刻のないように、また、授業時間以外にも新聞・雑誌・本をよく読むように心がけること。		
教科書	名古屋大学日本語研究会　GK7著　スキルアップ！日本語力～大学生のための日本語練習帳～(東京書籍)		
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典　第六版』(比較的小型)、江守賢治『漢字筆順ハンドブック　第二版』(三省堂)、小学館辞書編集部(編)『日本語便利辞典』(小学館)、金田一春彦(監修)『手紙の書き方辞典』(学習研究社)、『国語力アップ400問』(NHK出版[生活人新書067])、『国語力もっとアップ4		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、基礎学力講座(国語)、英語1・2、情報リテラシー1・2		

○成績評価の指標

到達目標の観点	到達目標
【関心・意欲・態度】	ふだんの生活の中で何気なく使っている日本語にたいして意識を高め、日本語として自然な表現に関心をもち、一般社会人としての十分なコミュニケーションが行えること。
【知識・理解】	日常の言語的コミュニケーションに必要な、日本語の基礎的な理解力と文章表現力とを有すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	日常の言語的コミュニケーションを十分に行うために必要な日本語の運用能力を備え、相手にわかりやすく説明できること。
【思考・判断・創造】	日常の言語活動において的確な言葉を選択する能力や、適切な言葉によって深く掘り下げて考える能力が身についていること。

○成績評価基準(合計100点)

テスト(期末試験・中間確認等)	提出物(レポート・作品等)	無形成果(発表・その他)
25点		30点
15点		
15点		
15点		

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

○授業の目的・概要等

授業の目的	基礎的な国語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における国語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人がもつべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座(国語)」では文字表現や文章作成を学びましたが、後期のこの科目ではそれに引き続き、文章実践や口語表現を学んでさらに日本語力に磨きをかけ、それによって特に日常生活におけるコミュニケーション能力の養成を図ります。	
授業の概要	第1週の前半はこの科目のオリエンテーション。第1週の後半から第15週まで教科書の第1章から第4章までを学んで行きます。敬語、文法、語彙・言葉の意味、漢字・表記を中心に日常のコミュニケーションに活かせる言語表現を徹底して練習します。 　第16週に第1週から第15週までの授業内容についての期末試験を行います。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当しない」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 : 文章表現基礎講座（Basic Course of Sentence Expression ）　授業コード:A030867 担当教員: 太田　清子
学修内容	
1. 半年間の学習に関するオリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表の取り扱い、質問の受け付け、成績評価の方法等について説明します。授業の後半では 教科書の第1章第1回 敬語の種類と使い分けを取り扱います。	
予習: 教科書P12～P14を読み、P15からの練習問題およびP17の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P15からの練習問題およびP17の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
2. 教科書の第1章第2回　注意すべき敬語	
予習: 教科書P18～P20を読み、P21からの練習問題およびP23の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P21からの練習問題およびP23の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
3. 教科書の第1章第3回　配慮を示す言葉	
予習: 教科書P24～P26を読み、P27からの練習問題およびP29の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P27からの練習問題およびP29の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
4. 教科書の第2章第4回　品詞・活用の種類	
予習: 教科書P32～P34を読み、P35からの練習問題およびP37の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P35からの練習問題およびP37の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
5. 教科書の第2章第5回　ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉	
予習: 教科書P38～P40を読み、P41からの練習問題およびP43の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P41からの練習問題およびP43の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
6. 教科書の第2章第6回　文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	
予習: 教科書P44～P46を読み、P47からの練習問題およびP49の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P47からの練習問題およびP49の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
7. 教科書の第2章第7回　接続語・指示語と文章	
予習: 教科書P50～P52を読み、P53からの練習問題およびP55の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P53からの練習問題およびP55の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
8. 教科書の第3章第8回　類義語・対義語	
予習: 教科書P58～P60を読み、P61からの練習問題およびP63の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P61からの練習問題およびP63の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）

○授業計画	科 目 名 : 文章表現基礎講座（Basic Course of Sentence Expression ）　授業コード:A030867 担当教員: 太田　清子
学修内容	
9. 教科書の第3章第9回　動詞の自他・視点	
予習: 教科書P64～P66を読み、P67からの練習問題およびP69の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P67からの練習問題およびP69の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
10. 教科書の第3章第10回　文体、話し言葉・書き言葉	
予習: 教科書P70～P72を読み、P73からの練習問題およびP75の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P73からの練習問題およびP75の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
11. 教科書の第3章第11回　コロケーション	
予習: 教科書P76～P78を読み、P79からの練習問題およびP81の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P79からの練習問題およびP81の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
12. 教科書の第4章第12回　部首・音訓・熟語	
予習: 教科書P84～P86を読み、P87からの練習問題およびP89の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P87からの練習問題およびP89の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
13. 教科書の第4章第13回　仮名遣い・送り仮名	
予習: 教科書P90～P92を読み、P93からの練習問題およびP95の応用問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P93からの練習問題およびP95の応用問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
14. 教科書の第5章第14回　総合問題 ①	
予習: 教科書P98からP101の総合問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P98からP101の総合問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
15. 教科書の第5章第14回　総合問題 ②	
予習: 教科書P101からP103の総合問題をとくこと。	（約2.0h）
復習: 教科書P101からP103の総合問題の内容をふりかえること。	（約2.0h）
16. **期末試験** 第1週から第15週までの授業内容についての試験を行います。	
予習: 期末試験に備えて半年間で学んだ授業の内容を再度ふりかえり、必要なまとめや補充をおこなうこと。	
復習: 疑問点等については、辞書や参考書を使って確認すること。教員への質問も積極的に視野に入れること。	